

DoKoネット 21

同志社大学理工学部同窓会報

March, 2015



繋がりを大切に
橋詰 源治
理工会 (理工学部同窓会) 会長

理工学部近況報告
林田 明
同志社大学理工学部部長
同志社大学大学院理工学研究科長
同志社理工学会会長

複合施設の名称が
「訪知館」に決定
HOUCHIKAN
学生・先生方の活躍



彰栄館 (左)と 良心館 (真ん中奥)と チャペル (右)

彰栄館の塔屋は鐘塔と時計塔を兼ねており、礼拝を告げる鐘の音は、同志社中学校が岩倉キャンパスに移転するまで、司鐘生と呼ばれる中学校の生徒が担当。

良心館は文系学部を京都市内に統合移転させるため、同志社中学校の跡地に建築し、延床面積は40,000㎡を超える。

チャペルは正面中央に円形のバラ窓、左右にアーチ窓を設け、その前に屋根と尖りアーチの入口を持っているゴシック建築。

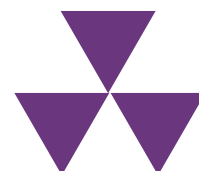
写真提供：宇佐美 宏氏 (1986年電子工学科卒)

Greetings

What's new

Reportage

Information



DOSHISHA UNIV.

繋がりを大切に



同志社大学
理工会(理工学部同窓会)
会長

橋詰 源治

昭和43(1968)年 電気工学科卒
(株)橋詰電気工業所 代表取締役

本年3月に理工学部卒業生863名、および大学院を修了される331名の皆様、ご卒業誠におめでとうございます。今後は同窓会員と成られますので歓迎申し上げます。

さて4年間の大学生活又、大学院での研究生活など楽しかった事、苦しかった事など思い出が胸一杯つまっている事でしょう。

今日の社会は急速な少子高齢化、グローバル化など大きく変化しています。

大学で学んだ事は社会ですぐに通じるものではありませんが焦らずに基本にもとづいて、しっかり足元をかた

めていてもらいたいものです。京田辺校地は丘の上に展開していますので通学は少々きつかったことでしょう。今この事は皆様の足腰を強くし、健康のために良かった事です。

S43年3月、私の卒業式で住谷悦治^{すみや えつし}総長の祝辞の中で、「S39年4月入学式での約束の話」をされました。

それは1年間に50冊の本を読むことでした。4年間で200冊読めましたかと言われたことです。勿論私は出来ていませんでした。今年の卒業生の皆様にもこの教えを引継いでもらいたいと思います。そして時間と健康と安全に心掛け素晴らしい人生を造られる事に期待申し上げます。そして同窓会にも元気な顔で立ち寄って下されば幸いです。自信を持って社会で活躍されることを願っています。

最後になりましたが、昨年11月1日の70年史発行記念講演会、同窓会総会には沢山のご参加をいただき有難うございました。

今後とも同窓生の繋がりを大切に活動いたしたく存じますのでご協力の程お願い申し上げます。

2

ご挨拶



同志社大学理工学部長
同志社大学理工学部大学院
理工学研究科長
同志社理工学会会長

林田 明

理工学部同窓会報『DoKoネット』は2012年の第15号から年に2回、3月と9月に発行されるようになりました。それぞれ春学期と秋学期の卒業式・学位授与式の時期にあたります。特に3月には多数の学部生、大学院生がそれぞれの課程を終え、新しく同窓会の会員に加わります。本年も約860名の学部卒業生、約340名の大学院修了生を送り出すことをたいへん喜ばしく思います。

さて、同志社の卒業式・学位授与式では学生諸君を送るために讃美歌405を歌うことが恒例となっています。「神とも^{いま}に在して行く道を守り・・・」という冒頭の歌詞やメロディーをご存知の方、「また会う日まで、また会う日まで」というリフレインに聞き覚えのある方もおられるでしょう。この曲は送別の歌として広く知られていますが、実はキリスト教の葬儀で葬送の曲として使われることもあるそうです。卒業式をお葬式にたとえるのは卒業生やご家族の皆さんに対して大変失礼なことですが、この二つの儀式には共通の思いを抱かせるものがあ

ります。

何かうれしいことがあったとき、「ご先祖様のおかげ」と言うことがあります。「ご先祖様に対して恥ずかしい」といった言い方をすることもあります。「ご先祖様」を「神様」や「仏様」に置き換えてもいいのですが、日本では「ご先祖様」に対する意識が長く私たちの行動規範に影響を与えてきました。このように考えると、これまで近くにいた人が今度は遠くから私たちを見守ってくれる「ご先祖様」になるための儀式としてお葬式を捉えることができそうです。一方、卒業式によって在學生は外部から大学を眺める存在に変わります。卒業生の皆さんには「ご先祖様」として、学外の様々な立場から同志社大学と理工学部・理工学研究科を見守っていただきたいと思います。残された私たちは皆さんの思いを大切にしよう心がけたいと思います。

さらにこのたとえを続けるなら、「ご先祖様」は時々この世に戻ってこられます。それが夏のお盆であり、春と秋のお彼岸という「ご先祖様」との交流の機会もあります。卒業生の皆さんにも、同窓会やホームカミングデー、あるいはそれ以外の機会を見つけ大学に戻ってきたいと思っています。このような交流のためにも理工学部同窓会が果たす役割は大変大きく、引き続き会員の皆様の活発な活動と大学へのご支援とご協力をお願い申し上げます。

「訪知館」に決定 複合施設の名称が



Dokoネット第19号にて紹介しました複合的研究施設の名称が、「訪知館」に決定しました。

12月18日(木)、京田辺キャンパスにて竣工式を行いました。大谷實総長の式辞の後、水谷誠理事長が工事関係者に感謝状を手渡しました。その後、定礎式が行われ、村田晃嗣学長、渡辺好章副学長により定礎石が固定されました。

訪知館は4階建ての複合的研究施設で、1・2階はプロジェクト型研究室等を配備した全学共用の実験・研究エリアおよび博士課程リーディングプログラムの拠点エリア、3・4階は来年度より京田辺キャンパスに拠点を移す脳科学研究科のエリアとなります。研究室や実験施設にはゾーンごとのセキュリティを設けつつ、研究者同士の交流を促す「リフレッシュゾーン」を設置しており、さまざまな分野の研究者同士の交流から新たな研究の萌芽が生まれることが期待されます。

写真提供：京田辺施設課



【理工学部学生・先生方の活躍】

最近の理工学部関係者の活躍されている情報が満載です。詳しくは、ホームページをご覧ください。

理工学部電子工学科吉門進三教授が
共同研究で親指サイズのX線発生デバイスを開発
詳細につきましては、<http://se.doshisha.ac.jp/doc/news/2014/20150122.html>

第16回関西表面技術フォーラムで優秀講演賞を受賞
詳細につきましては、<http://se.doshisha.ac.jp/doc/news/2014/20141216.html>

関西電気化学奨励賞を受賞
詳細につきましては、<http://se.doshisha.ac.jp/doc/news/2014/20141217.html>

第24回非線形反応と協同現象研究会でポスター賞を受賞
詳細につきましては、<http://se.doshisha.ac.jp/doc/news/2014/20141210.html>

錯体化学会第64回討論会で学生講演賞を受賞
詳細につきましては、<http://se.doshisha.ac.jp/doc/news/2014/20141126.html>

CSJ化学フェスタ2014で優秀ポスター発表賞を受賞
詳細につきましては、<http://se.doshisha.ac.jp/doc/news/2014/20141120.html>

JpCOMPEms14賞を受賞
詳細につきましては、<http://se.doshisha.ac.jp/doc/news/2014/20141105.html>

59th FRP CON-EX 2014にて論文賞を受賞
詳細につきましては、<http://se.doshisha.ac.jp/doc/news/2014/20141021.html>

第12回全日本学生フォーミュラ大会全国総合3位を獲得
詳細につきましては、<http://se.doshisha.ac.jp/doc/news/2014/20141002.html>

藤井透教授が日本自動車技術会において技術部門貢献賞を受賞
詳細につきましては、<http://se.doshisha.ac.jp/doc/news/2014/20140925.html>

辻内伸好教授がDynamics and Design Conference 2014にて
部門功労賞を受賞
詳細につきましては、<http://se.doshisha.ac.jp/doc/news/2014/20140901.html>

革新的なレアメタル・ベースメタルの製造技術の事業化に成功
～省電力・低環境負荷を兼ね備えた金属の製造方法を実用化～
詳細につきましては、
<http://www.doshisha.ac.jp/news/2014/0904/news-detail-1836.html>

第24回金属の関与する生体関連反応シンポジウムで
ポスター賞を受賞
詳細につきましては、<http://se.doshisha.ac.jp/doc/news/2014/20140620.html>

プラスチック成形加工学会第25回年次大会で
優秀学生ポスター賞を受賞
詳細につきましては、<http://se.doshisha.ac.jp/doc/news/2014/20140707.html>

大学・大学院における技術者倫理教育実践の開催について
詳細につきましては、<http://se.doshisha.ac.jp/whatsnew/2014/jyohou.html>

粉体工学会2014年度春期研究発表会で
ベストプレゼンテーション賞を受賞
詳細につきましては、
<http://www.doshisha.ac.jp/news/2014/0605/news-detail-1681.html>

一般社団法人ターボ機械協会第71回総会講演会にて
学生優秀講演賞を受賞
詳細につきましては、
<http://www.doshisha.ac.jp/news/2014/0605/news-detail-1682.html>

第76回情報処理学会全国大会にて学生奨励賞を受賞
詳細につきましては、
<http://se.doshisha.ac.jp/whatsnew/2014/toyokawa.yano.kimura.yamakawa.minami.html>
<http://www.doshisha.ac.jp/news/2014/0416/news-detail-1479.html>

同志社大学フォーミュラプロジェクトチームが
2013年度同志社大学総長賞を受賞
詳細につきましては、
<http://se.doshisha.ac.jp/whatsnew/2014/Formulaprojectteam.html>

理工学研究科、ビジネス研究科の留学生によるチームが
「International Business Model Competition」に出場
詳細につきましては、
<http://se.doshisha.ac.jp/whatsnew/2014/InternationalBusinessModelCompetition.html>

What's New

注目 !! 理工会 (理工学部同窓会) 補助金を交付いたしました。

本年度は以下の2件に対し、補助金を交付させていただきました。是非ともご活用ください。
補助金の詳細につきましては、<http://dokonet.doshisha.ac.jp/douki/> をご参照ください。

同志社大学理工学部機械系交流会

機械システム工学科 2013年修士入学 木下 俊

同志社大学理工学部機械系交流会と銘打ち開催された本交流会はOB、院生、学部生を含め総勢76名にご参加いただきました。場所は京都駅近郊にあるPublic houseという築100年の建物をそのまま使っておられる雰囲気のあるお店で開催いたしました。

研究室単位の飲み会は多くあっても、このように横の繋がりで交流会は幹事である私にとっても、また同志社大学機械系の長い歴史の中でも初めての事で準備、連絡の段階から計画は難航しました。しかし、同窓会の役員である青山先生をはじめとする理工会の方々や、各研究室の幹事のご協力の元無事開催する事が出来ました。

また、開催にあたり同じ機械系とはいえ、話したことが無い人、先輩後輩入り乱れる中、盛り上げられるのかと一抹の不安を抱えておりましたが、当日の賑わいを見て、さすが同志社生、余計な心配であったと安心しました。

乾杯からはじまり、まず同窓会役員の方々から同窓会に関するお話を頂きました。卒業後、繋がりが薄くなりがちなところを今後とも同窓会の方が支えてくださり、若い世代と同窓会とのより密接な関係を

今後築いてくださるとのことでした。そして今回の交流会へのご祝儀を頂きました。

会も中盤に差し掛かり参加者も打ち解けた頃にビンゴゲームを行いました。それぞれの景品に関するクイズに正解しないと景品を貰えない形式にし、ゲームを行いました。ポータブル防水DVDプレイヤーやネスカフェバリスタから駄菓子やパーティーグッズまで幅広い景品とクイズで大いに盛り上がりました。これらの景品はご祝儀で購入させて頂きました。この場をお借りいたしまして再度御礼申し上げます。

楽しい時間は過ぎるのが早くあつという間の2時間でした。終了後は息の合った人たちで飲みに行ったり、それぞれの週末を楽しんでいたようでした。

最後になりましたが、本交流会の開催にあたりご援助頂いた理工会の皆様、お手伝いいただいた各研究室の幹事の皆様、本当にありがとうございました。この交流会が機械系で恒例のものとなり発展していく事を祈願し、今回の報告とさせていただきます。



1954年工業化学科卒業生同期会開催のご報告

1954年工業化学科卒業 古川 功

本年は卒業後満60年(還暦)の記念すべき年に当たりますので、10月30日、久しぶりに新しくなった古巣に集い同期会を開催しました。遠くは八王子市から一番電車に乗り継いで馳せ参じてくれた者、また名古屋からの参加者もあり、7名が集いました。私達卒業生は全員で30名、理工学部はじめて以来最小の卒業生数、うち消息不明者が4名、物故者9名、他は病气療養中などで出席できない方々でした。

当日は思い出深い理化学館に集合、寒梅館の見晴らしの良い7階のレストランで会食しながら、学生時代の思い出話や近況を語り合っ、旧交を温めあうことができました。会食後は通い慣れた旧西門から入校、理化学館前で記念撮影、正門を通り、卒業式が行われた栄光館内部を見学した後解散となりました。予定ではキャンパス内を一巡後、新島先生の旧邸を見学することにしていたのですが、寄る年波には勝てず断念しました。

在学中は殆どが木造建て校舎での授業や実験でしたが、今は全てが鉄筋の立派な近代的な建物に変わ

り、木々も大きくなり、通路も綺麗に整備され、時代の流れを感じました。

当日は好天にも恵まれ、爽やかな秋の一時を60年前の古巣で楽しく過ごすことができ思い出に残る一日でした。次回は米寿に集うことを約し散会しました。

最後に本会を開催するに当たり、理工会関係諸氏には大変御世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



(両写真最左が古川先生)

化工7074会

1974年化学工学科卒業 横田 繁夫・菊山 裕久

大学を卒業して丁度 40 年。家族・家庭を顧みず一生懸命働き続けた 40 年。気がつけば還暦も過ぎそして定年を迎えた時、思い出すのは学生時代を過ごした京都・大学・仲間たち。懐かしいなあ・・・、会いたいなあ・・・。その気持ちが「面倒くさがりや」の私を動かした。これには伏線があった。同窓の友人と東京で酒を飲みながらの会話。「しかし、早くしないと会えなくなるなあ・・・。同窓会をすればしたら時間の出来る今年の秋が最後のチャンスかも」これが昨年のお正月。夏も過ぎ、連絡をとるにしても連絡先が判明している人はわずか。頼るのは同志社大学 理工会。事情を説明し卒業生の連絡先を教えて頂き、三名で手分けし 20 数名に連絡したところ 12 名から参加の連絡（当日 1 名欠席）。

11 月 23 日 12 時西門前に、すれ違っても絶対判らない、しかし面影のある顔が続々集合。新町学舎と学生会館（現寒梅館）を回り再び今出川学舎へと、就職が決まった時に投げ込まれた池、扶桑館そしてハリス理科学館（現在新島先生の展示場になっており、「八重の桜」を思い出しながら見学）。懐かしさの中にも近代的に変貌し、益々発展しているのを嬉しく感じながら正門を出、紅葉の御所を散策し新島会館を経て河原町三条。お酒を飲みながら、40 年前の思い出が次か

ら次に、カラオケで歌い、最後はカレッジソング。まだ現役で頑張っている人、一旦定年し再就職している人、引退している人いろいろ。一回限りの集まりと思っていたのが、参加者からもう一度、今度はもっと人数を集めてとの声に、会いたかったのは私だけではなかったのだ。集まって良かった！！

再会を約束して散会。40 年の時空を超えて当時の青年に戻った楽しい半日でした。

参加者：後藤文夫、井上隆壽、川戸清比己、菊山裕久、水谷安裕、中井秀樹、太田徹次、大谷俊一、梅田四郎、山本純、横田繁夫（計 11 名）



（後列右端が横田繁夫、前列右から2番目が菊山裕久。）

同志社技術士会について

技術士(上下水道・総合技術監理部門)
APEC Engineer (Civil)

山田 稔

はじめに

私は昭和 51 年 3 月、工学部機械工学第Ⅱ学科を卒業し、各種プラントの設計・調達・建設を請け負うエンジニアリング会社に就職し、技術者として約 36 年勤務してきました。主な業務は、当時の日本の社会情勢・要求に対応した下水道や廃棄物関連の処理プラントの設計・建設・試運転から維持管理までの一通りの業務に従事し、設計担当者からプロジェクトマネージャーまで、色々な職務経験を積めたことは技術者として幸運であったと思っております。

その業務を遂行する中で、平成 18 年に技術士試験に合格し、技術士（上下水道部門）となりました。技術士となってから、日本技術士会主催の会合等に出席する機会が増え、そこで各大学には卒業生で構成する技術士会のあることを知り、同志社にも技術士会があればいいと思っておりましておりました。技術士で同志社の先輩である末廣会長や同期の方にお会いし相談したところ、同会の立ち上げに御賛同を得、平成 26 年初顔合わせの会（写真参照ください）を開催しました。本会合で会員の拡大を進めて行くこととなり、各人勧誘に努めていますが、近年の個人情報保護の観点から、同志社出身の技術士の個人情報が容易に得られないため、会員拡大は十分に出来ていないのが現状です。

また、末廣会長から、昨年暮れの 37 機械・同期会で御牧名誉教授（末廣会長の御親友）に会員拡大について相談されましたが、「大学側では把握できていない。個々に調べるしか手段はない。」との事でした。

同志社技術士会へのお誘い

同志社技術士会を立ち上げています。同志社大学出身者で技術士資格を取得されている方がおられましたらぜひ参加下さい。

現在会員数は 12 名ですが、その輪を大きくして行くことで、

- ・会員相互の親睦・懇親を第一とし、
- ・会員相互の各種技術情報・業務情報の交換を通じて、自らの業務を発展させ、
- ・各種最新情報の取得や、研究会への参加を通じて、社会に貢献できる業務が実践できます。
- ・また、母校からの求めがあれば、最新の技術・産業情報を提供することで、
- ・母校同志社大学の科学技術に関する支援活動等に寄与することが出来ます。

この輪をさらに大きく出来れば、会員各位にとって有意義な活動となるのが大きく期待されます。

会員の資格としましては、技術士・技術士補の資格を取得されている方だけでなく、これから技術士を目指そうという方も加入できますので、是非とも御参加頂きますようご案内します。

技術士とは

ちなみに技術士（Professional Engineer）（既にご承知と思いますが）とは、国によって科学技術に関する高度な知識と応用能力が認められた技術者で、科学技術の応用面に携わる技術者にとって最も権威のある国家資格です。また、経済団体連合会元会長の土光敏夫氏は、「学理を開発した学者には博士という称号が与えられる。これに対し、技術を産業界に応用する能力を有すると認められた技術者には技術士という称号が与えられる。」といっております。



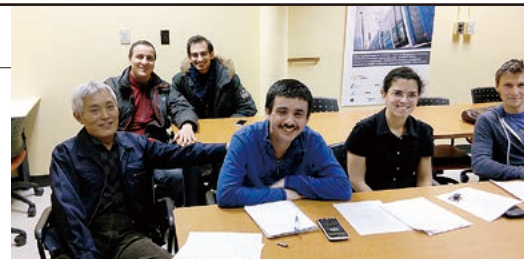
左より 佐々木邦利氏(1978 機械 M2 卒)
末廣和康会長(1964 機械 M2 卒)
松岡利雄氏(1963 電気卒)
山田 稔(1976 機械 II 卒)
藤原恒夫氏(1972 機械卒)
石田智之氏(1970 化工卒)

Ecole Polytechnique Montreal の教授として

本学名誉教授・特別客員教授 雨谷 昭弘

2014年5月から当面2年契約でフランス国営電力RTEの冠講座教授として、カナダのEcole Polytechnique Montreal (EPM, モントリオール工科大学)で、ポスドクおよびPh. D.学生の研究指導と、フランス南東部ニース近くの山中に建設中の220kV地中ケーブル(65km)の技術指導を行っております。EPMはケベック州立大学であり、文系主体のUniversity of Montreal (UM)とキャンパスを接しており、UMの一学部と受け止められることもあります。州立大学であるため学部教育はすべてフランス語です。大学院の研究指導は英語の方が多いようです。

同じ、モントリオール市内に私立の有名なMcGill Universityがあり、ここは全て英語なので、多数の優秀な留学生在がMcGillに流れるのが難ですが、工学部はEPMの方が圧倒的に優位かと思受けられます。もう一つ、私立で、Concordia Universityが街の中にあり、裕福な中国留学生在が街を闊歩しています。教授としては研究指導だけなので、充分余裕があり、週末は小旅行に出かけ、緩やかな時の流れと緑豊かな自然に満足しております。



同志社大学理工学部 70 年史 発行記念講演会・懇親会開催の報告

理工学部70年史編集委員会委員長
加藤 利次

6



SINCE
1944
The 70th
Anniversary

ご存じのように、創立者・新島襄は、アーモスト大学から理学士の学位を取得した、理系の人物でした。また、同志社大学に理工学部を作ることが念願でもありました。その遺志を継いで、理工学部の前身、同志社工業専門学校が開校されたのは1944年のことでした。爾来、世に有益な人材を多数輩出してきた同志社大学理工学部は、2014年で70年を迎えることになりました。理工学部では、3年の月日をかけて、新島の思いと、その遺志を継いだ先達たちの理科学校設立への苦難や、その後の歴史、そして、これからの同志社の歩むべき方向性についてまとめ、同志社工業専門学校・工学部・理工学部70年史「人間のための科学技術を求めて同志社大学理工学部の70年」を昨年3月に発行いたしました。制作にあたりましては、卒業生の皆様より多数のご寄稿を賜り、また、貴重な在学当時の写真、卒業アルバム、講義ノートなどをご提供頂きました。改めて、編集にご協力頂きました関係各位に厚く御礼申し上げます。

そして昨年11月には理工会総会・リユニオンと併催にて、70年史発刊を記念し、各界でご活躍の卒業生お二人をお招きし、記念講演会を同志社クローバー祭にあわせて企画いたしました。1人目の講演は、石田 耕三氏(株式会社 堀場製作所 代表取締役副会長)の『強いグローバル企業への挑戦』でした。その前半は学園紛争真っ只中の熱工学、竹内研での経験や堀場製作所との出会い、また、同志社大学の理工学部の設立にも貢献された堀場信吉博士との歴史的なつながりなどを紹介いただきました。そして後半にグローバル時代の生き残りをかけた経営戦略、社是でもある「おもしろおかしく」や「オープン&フェア」の企業文化、グローバル人財教育などについてご講演いただきました。そして2人目の講演は鳥山 素弘氏(富山県工業技術センター 所長/独立行政法人 産業技術総合研究所 名誉リサーチャー・前中部センター所長)の『製造業の復権—工学再考—』でした。社会の安定には厚い中間所得層の存在が不可欠であり、中間所得層の形成には第二次産業の寄与が大きいことから、産業の高度化が進む米国にあっても近年製造業の重要性が再認識されています。このような背景の下、(独)産業技術総合研究所で産業技術開発に携わってきた経験を基に、社会における工学の意味をご講演いただきました。



記念講演のあと、カフェテリアにて懇親会を開催いたしました。リユニオンでの旧友との再会のみならず、今回は記念誌の発刊や講演の話題等もあり、さらにはチアリーダーも含めた応援団の演舞(団長は機能分子・生命化学科所属の北村智之氏)の祝福も受けて、会場は大いに盛況でした。多くの卒業生の方々と在學生にご参加いただき、お礼を申し上げます。

大谷隆彦名誉教授 瑞宝中綬章受章祝賀会ご案内

大谷隆彦先生が、昨年2014年11月3日に瑞宝中綬章を受章されました。

このたびの受章と先生のこれまでのご功績を讃えると共に、今後益々のご活躍を祈念致しまして、受章祝賀会を開催致しますのでお知らせ致します。



ご参加頂けます場合は下記のメールアドレスまでご連絡頂きます様お願い申し上げます。多数の方々のご参加をお待ちしております。

開催日時：2015年4月29日(水)13:30より
場所：ホテルグランヴィア京都

連絡先：info@otani.fr

発起人：渡辺好章('72卒)、杉本裕二('74卒)、
土屋隆生('84卒)、松川真美('86卒)、
飛龍志津子('97卒)、小山大介('00卒)

原 正 先生を偲んで

理工学部 化学システム創成工学科 教授
塚越 一彦

去る2014年9月3日、原正先生（同志社大学名誉教授、元同志社大学学長）が、くも膜下出血のため亡くなられました。90歳でした。8月にご挨拶に伺った折は、奥様もまじえて1時間近く談笑させていただき、お顔の色も良くお元気でした。11月開催の研究室同門会（旧単位反応研究室、現計測分離工学研究室）をご案内すると、「行きます。必ず、行くから。大丈夫」と、ニコニコしながら、応じていただきました。原先生の教えを受けてまたはその教えを引き継ぐなかで卒業していった千数百名の同門生に連絡をし、先生の卒寿をみんなで祝う予定でした矢先のことでした。天命とは思いつつも、残念でなりません。

亡くなられた当日は、朝から普段通りに庭の手入れをなされていたようです。昼食の声を掛けようとされたときには、すでに庭に倒れられていたとお聞きしました。原先生は蠟梅（ろうばい）を好んでおられました。美しい蠟梅の花を何度か見せていただきました。この冬も、寒さの中、雪の中、庭には、在りし日の先生のお姿を映すかのように、凛とした気品のある蠟梅の花が、咲いていることと思います。

原先生は、卒業論文、修士論文研究も含めすべての研究において、オリジナリティーを強く求められました。ご自分のアイデアを、学生を集めて話をされることもありました。また、実際の実験結果を重視され、著名な研究者の論文内容よりも学生の実験結果を信用されました。移動するときは大抵早足で、階段も一段飛ばしで上がられることがありました。先生の後ろを学生は小走りについていったものです。学生とともに学ぶ姿勢を一貫しておられました。

原先生は、学問分野はもちろん、大学運営、学会活動に広く貢献されました。工学部長や学生部長を歴任され、京田辺キャンパスを開設した1986年から1989年まで学長を務められました。同じく1989年には日本分析化学会学会賞を受賞されています。ご退職後の2002年には、勲二等瑞宝章を受章されました。

1989年の春、京田辺キャンパスを、原先生と一緒に歩いた日のことを覚えています。先生には、学長職を無事終えられ、大任をはたされた安堵感のようなものが感じられました。植えられた木々も比較的小さく、キャンパスには初々しさが残っていました。当時、工学部（現理工学部）は、まだ今出川キャンパスにありましたが、京田辺キャンパスには、同志社の将来へ向けての若いエネルギーと可能性が感じられました。先生は、いつになくゆっくりと歩を進めていかれ、時々、立ち止まっては、新しいキャンパスを見渡し、あたかも同志社の将来像を思い描かれているかのような様子でした。よく晴れた穏やかでのどかな春の一日でした。

先生と歩いたあの日を呼び起こしてくれる拙句があります。甚だ恐縮ではありますが、ここに添えさせていただきます。

「先生と ゆっくり歩く ^{つくし}土筆かな」

（1989年春 京田辺キャンパスにて 一彦）
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

開催案内

2015年度総会リユニオン案内

2015年11月8日(日)／今出川キャンパス(ホームカミングデーと同日開催)

同窓会を企画いただく場合、お世話役の方より事務局へご連絡いただきますと、宛名シール印刷などのお手伝いをさせていただきます。



原 敬 名誉教授
大谷 隆彦 名誉教授

平成 25 年春の叙勲「瑞宝中綬章」受章
平成 26 年秋の叙勲「瑞宝中綬章」受章

この度のご受章、誠にありがとうございます。この輝く栄誉を心よりお祝い申し上げます。ご健康にご留意のうえ、なお一層ご活躍されますことを祈念いたします。

人事 (理工学部)

◎新任 (2015年度に新たに着任される教員)

〔情報システムデザイン学科〕
桂井麻里衣 (かつらい まりえ) 任期付助教 (2015.4.1 ~ 2020.3.31)

〔インテリジェント情報工学科〕
加藤 恒夫 (かとう つねお) 准教授 (2015.4.1 ~)

〔環境システム学科〕
赤尾 聡史 (あかお さとし) 准教授 (2015.4.1 ~)
岩崎 一成 (いわさき かずなり) 任期付助教 (2015.4.1 ~ 2018.3.31)

〔数理システム学科〕
川口 周 (かわぐち しゅう) 教授 (2015.4.1 ~)

◎退職 (2014年度末で退職される教員)

〔化学システム創成工学科〕
伊藤 正行 (いとう まさゆき) 教授 定年 (2015.3.31)
日高 重助 (ひだか じゅうすけ) 教授 定年 (2015.3.31)

〔環境システム学科〕
山下 正和 (やました まさかず) 教授 定年 (2015.3.31)
道越 秀吾 (みちこし しゅうご) 助教 任期満了 (2015.3.31)

〔理工研〕
林 隆夫 (はやし たかお) 教授 定年 (2015.3.31)

〔実験実習センター〕
松尾 豊樹 (まつお とよき) 実験講師 定年 (2015.3.31)
吉川 善直 (よしかわ よしなお) 実験講師 定年 (2015.3.31)

お悔やみ (2014年度中に永眠された教員)
原 正 名誉教授 2014. 9.3 永眠
西岡 一 名誉教授 2014.12.2 永眠

同窓会委員からのメッセージ

<p>構造工学 研究室 木村 匡宏 (Kimura Masahiro) 研究室で学んだことを活かして 頑張ります。</p>	<p>金属材料科学 研究室 永井 一樹 (Nagai Kazuki) 立派な社会人になれるよう 頑張ります。</p>	<p>機械要素トライ ロジー研究室 木村 裕章 (Kimura Hiroaki) 自身の研究と共に、人との繋がりを多く持つ ことが出来ました。ありがとうございます。</p>
<p>電気化学 研究室 白井 瑛 (Shirai Akira) 人生で最も辛く・楽しく・充実した電化研 での日々を糧に、これからも頑張ります!</p>	<p>計測分離工学 研究室 花村 直也 (Hanamura Naoya) 自分の意志・想いで道を間違えずに 進んでいきたい。</p>	<p>生産システム デザイン研究室 丹羽 広大 (Niwa Kodai) 今後も良い学びが得られるよう 努力致します。</p>
<p>共創情報学 研究室 落合 翼 (Ochiai Tsubasa) 研究室の仲間達が卒業してしま 寂しいです。</p>	<p>電力系統解析 研究室 棚橋 大季 (Tanahashi Daiki) 素晴らしい仲間達に出会って よかったです。</p>	<p>機械力学 研究室 山内 貴之 (Yamauchi Ryouti) 常に挑戦心を忘れない 社会人になりたいです。</p>
<p>応用材料工学 研究室 松本 紘宜 (Matsumoto Koki) 博士後期課程に進学します。宜しく お願いします。</p>	<p>音声言語処理 機構研究室 中辻 康太 (Nakatsuji Kota) 同志社の名に恥じないよう 社会人として頑張ります。</p>	<p>分子化学工学 研究室 山本 亮太 (Yamamoto Ryota) 修了までお世話になった方々に 厚く御礼申し上げます。</p>
<p>応用メディア情報 研究室 辻井 晴名 (Tsujii Haruna) 笑いの絶えない研究室で 幸せでした。</p>	<p>物理学 研究室 今林 佑太 (Imahayashi Yuta) 有意義な6年間を ありがとうございました。</p>	<p>地球システム 科学研究室 西山 洋人 (Nishiyama Hiroto) 一歩ずつしっかりと成長していきたい と思います。</p>
<p>社会情報学 研究室 西脇 康人 (Nishiwaki Yasuto) 大学で学んだことを活か 社会に貢献していきます。</p>	<p>知識情報処理 研究室 小川 真路 (Ogawa Shinji) 修了まで支えてくださった方々に 感謝致します。</p>	<p>生体機能化学 研究室 藤本 隆宏 (Fujimoto Takahiro) 学んだことを社会で活かしてい きたいと思います。</p>

会員名簿
について

会員名簿につきまして、2011年度からは事務局での閲覧方式に切り替えられました。現在登録正会員総数は42,303名、住所が明らかで、郵送で連絡できる方々が23,177名、電子メールでの連絡可能な方々は1,284名です。

事務局では、会員からの訂正情報をリアルタイムに把握し、データを更新しております。同窓会会員の情報を閲覧されたい方は、事務局にお越し頂き、会員確認をさせて頂いた上で、ご自由に閲覧用パソコンにおいて、会員情報を閲覧(公開拒否情報を除く)して頂けます。また、ゼミの同窓会、同期会など同窓会活動に関する会合の案内のために必要な住所情報は、所定の申請用紙にてお申込頂きますと、ラベル印刷のサービスや実費による発送サービスも可能です。DoKo ネット 発送時(全会員に発送する秋号(9月末)の発送時期)に合わせた案内の場合には、郵送料は無料でのサービスもあります。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

同志社大学ホームページアドレス
<http://www.doshisha.ac.jp/>

同志社大学 理工学会・理工会(理工学部同窓会)
ホームページアドレス
<http://dokonet.doshisha.ac.jp/>



同志社大学理工学部同窓会報——DoKoネット21号

2015年3月20日 発行
発行者：橋詰源治
〒610-0321 京田辺市多々羅都谷1-3 同志社大学理工学部内
理工会(理工学部同窓会)事務局 TEL: 0774-65-6219 FAX: 0774-65-6850
印刷：大枝印刷株式会社 TEL: 06-6381-3395 FAX: 06-6318-2000

理工会(理工学部同窓会)へのご質問、ご意見あるいは本冊子「DoKo ネット」へのご投稿をお待ちしております。理工会事務局までご連絡、ご投稿下さい。なお、DoKo ネットの発送につきましては、大口発送元である株式会社工ルネットを発送代行として発送させていただきました。